

基本理念

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり

地域には、高齢者、障がいを持つ方、また子育て中の人など、様々な方が暮らしています。一人ひとりが共に支え合い、安心して生活できるように福祉のまちづくりを推進していきます。



ひとり暮らしの高齢者等を対象にした食事会（坂手地区）

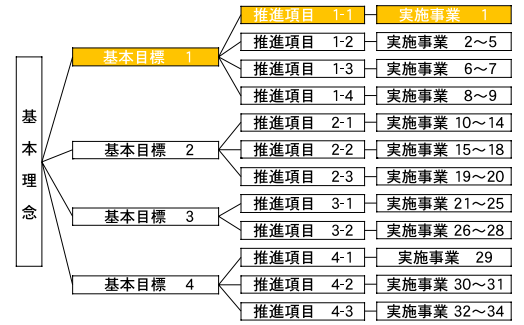


幼児教室アイアイの子どもたち（水海道児童センター）



基本目標 1

住民が共に支え合う活動を推進します



住民同士の支え合いが希薄化しており、ご近所付き合いも減少しています。「地域の住民と知り合いになりたい」「共に支え合って、このまちで暮らしていきたい」とみんなが考えています。住民同士で活動を盛り上げていくためには、活動がしやすい環境づくりをしていきます。

推進項目 1-1

誰もが地域福祉活動に参加でき、地域に根ざした活動が続くよう支援します。

誰もが気軽に参加できるようにきっかけづくりを行い、住民が主体となった地域福祉活動を支援していきます。

No.1 事業名 社会福祉協議会支部の支援

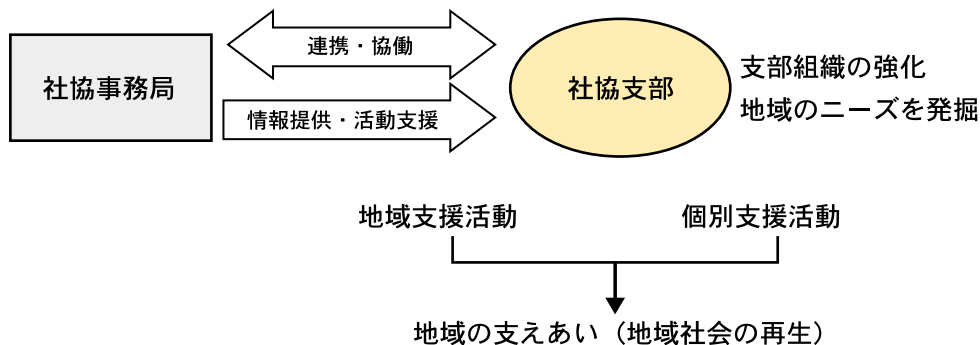
事業内容

社協支部の運営体制を整備することで、市民が地域の課題を発見し、主体的に課題を解決していける「地域の福祉力」を強化します。

推進方法

地域福祉課題や福祉ニーズを支部と共有化するため、支部座談会を開催していきます。また、支部事業助成金や支部運営助成金等により支部活動の充実を図ります。

支部社協の活動イメージ

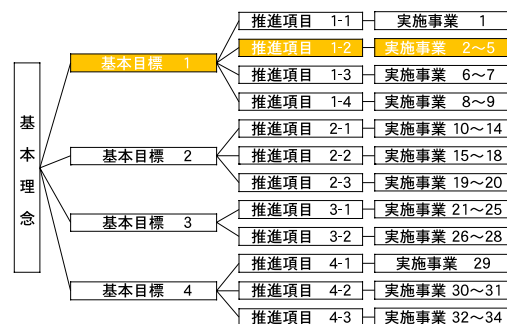


第3章 計画の内容

推進項目 1-2

ふれあい・助け合いの活動を進めます。

住民同士の見守り、支え合いの活動を支援します。
困った時、お互いに助け合う活動を進めます。



No.2 事業名 在宅福祉サービス「せいむ」

事業内容

市民の参加と協力を得て、高齢者や障がい者（児）がいる家庭や、子育て中の家庭に、家事援助などの支援を行うことで、在宅福祉の質の向上を図ります。

推進方法

利用者の多様なニーズに合わせ、協力会員の養成や資質向上を図り、柔軟な対応をしていきます。必要な方に情報が届くよう広報活動を充実させます。

会員数の推移

(単位：人)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用会員数	148	156	135	159	184
協力会員数	79	73	76	67	71

利用回数・時間の推移

(単位：回、時間)

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用回数	3,192	3,762	3,364	3,179	3,107
利用時間数	6,574	6,886	6,338	5,942	4,897

No.3 事業名 地域ケアシステム推進事業

事業内容

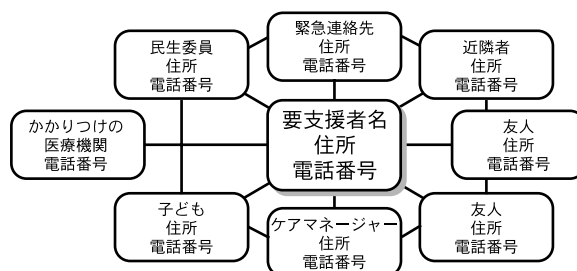
高齢者や障がい者、子育てなどで、援助が必要となった方々が、地域で安心して暮らせるように各種関係機関及び地域住民が連携して、それぞれに合った支援を提供します。

推進方法

ほほえみネットワーク事業や家具転倒防止金具取付事業により、地域のつながりを再構築していきます。また、必要に応じて要援護者に対する支援の話し合いをしていきます。

ほほえみネットワーク事業に使用している見守り表

ネットワーク表のイメージ図です。表の形は、利用者の生活に合わせ、いろいろな形になります。



No.4 事業名 お食事会

事業内容 地域のボランティアの手づくり料理を、ひとり暮らしの高齢者が月一回、一同に会して楽しく食事会を行います。食生活の改善及び健康の増進、並びに地域社会との交流や孤独感の解消、閉じこもり予防を図ります。

推進方法 食事の提供のほかに、健康体操や移動食事会、買い物支援などを会場ごとに実施していきます。また、各種福祉サービスとの連携を図って参加者へのフォローも強化します。

お食事会実施状況

地区	開催日	場所	ボランティア
水海道	第2木曜日	諏訪会館・橋本町民会館	ボナペティ・ひまわり・わたげ
豊岡	第2金曜日	豊岡公民館	なごみ
菅原・大花羽	第3土曜日	菅原公民館	かんな
三妻	第3水曜日	三妻公民館	みつま
大生・五箇	第3火曜日	大生公民館	さくら会
坂手	第3木曜日	坂手公民館	やまゆり
内守谷	第3土曜日	内守谷公民館	陽だまり
菅生	第1木曜日	菅生公民館	ひばりの会
石下	第3火曜日	石下総合福祉センター	コスモス
岡田	第2水曜日	篠山農村集落センター	つくし
玉	第3金曜日	石下婦人の家	まんまる玉

No.5 事業名 ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

事業内容 高齢者や障がい者、子育て中の親子など誰もが楽しく気軽に参加できる「地域のたまり場」活動が、それぞれの地域で自主的に運営していけるよう支援します。

推進方法 身近な場所で多くの活動が開始できるよう、活動助成金を支給していきます。また、その活動が長く続けられるよう支援します。

ふれあい・いきいきサロン

高齢者や障がい者、子育て中の親子だけではなく、地域の誰もが、楽しく、気軽に参加できる「地域のたまり場」で、定期的を開催します。お食事会やおもちゃ図書館なども同サロンのひとつです。

地域の皆さんが自由に集まって、自由な発想で企画・運営します。歩いて行ける身近な場所で、地域の特色を生かして昼食やお茶を飲みながら、ゲームや健康体操、おしゃべりなどを自由に無理なく楽しめます。

サロンが始まると、

- 地域の福祉やボランティア活動に対する意識と地域全体の福祉力が高まります。
- 異世代交流・地域交流の拠点となります。
- 生活に役立つ情報発信や情報交換の場となります。

第3章 計画の内容

推進項目 1 - 3

自分のまちを、自分たちで支える活動を充実させていきます。

自分が住んでいるまちを住みよく変えていくために、住民一人ひとりが「自分たちのまち」という意識を持って、活動を進めます。

No.6 事業名 赤い羽根共同募金運動への協力

事業内容

地域福祉の推進を図るための募金を募り、その募金を社会福祉事業やその他の社会福祉を目的とする事業に配分し、自分のまちを良くするための仕組み作りをします。

推進方法

社協支部や自治区を通して依頼する戸別募金や、法人や団体からの募金、地域の方をお願いする街頭募金の他、学校や企業に協力を呼びかけます。広報紙やホームページを活用し市民への理解を広めていきます。

◆共同募金実績

(単位：円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
赤い羽根	9,223,910	12,915,711	13,037,537	12,305,750	12,634,603
歳末たすけあい	4,632,238	683,137	684,219	704,931	554,702
計	13,856,148	13,598,848	13,721,756	13,010,681	13,189,305

※22年度からは、歳末たすけあい戸別募金を赤い羽根戸別募金として実施。

No.7 事業名 歳末援護事業

事業内容

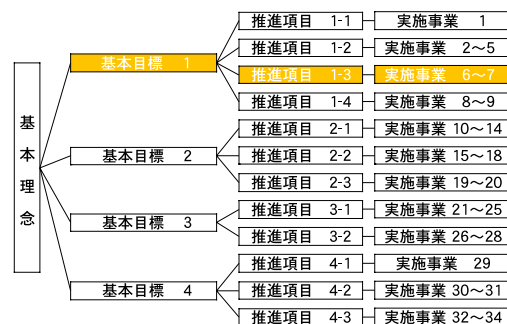
援助や支援を必要とする方々が安心して暮らせるよう、歳末たすけあい募金を生活困窮世帯などへの見舞金として支給します。

推進方法

本人からの申請を受けて、適切な見舞金支給を行っていきます。



森下町子ども会の協力による赤い羽根街頭募金

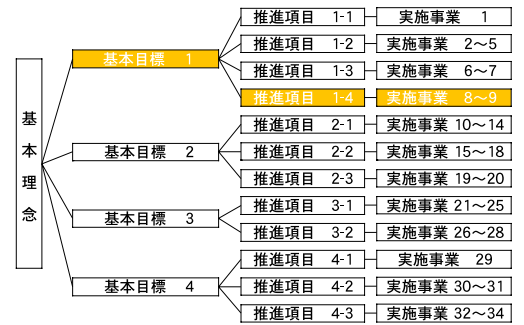




推進項目 1 - 4

地域の情報を集め、分かりやすく情報を発信し、福祉啓発を進めます。

住民同士が地域の情報を共有できるように、「知らなかった」「気づけなかった」ということの無いよう情報の発信をしていきます。



No.8 事業名 広報紙「ふくしJOSO」発行

事業内容

市民が広報委員として広報紙づくりに参加し、社協事業内容の周知と福祉の啓発、地域づくりに利用できるような情報の発信をします。

推進方法

年4回発行し全戸配布をしていきます。掲載記事の充実を図り、市民に親しまれる広報紙を目指していきます。

No.9 事業名 ホームページ運営

事業内容

いつでも情報が得られる手段としてホームページを開設しています。社協を身近に感じてもらえるよう、広く市民に情報を発信します。

推進方法

ホームページの内容を随時更新し、リアルタイムな情報を発信していきます。より親しみやすい、読みやすいホームページをつくるため、職員だけでなく、読者の意見を取り入れていきます。

